

Rotary club

YACHIYO 週報

第2546回
2019年12月6日



八千代ロータリークラブ
CLUB NO.15070

The Four-Way Test 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2019-20年度 国際ロータリーテーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

「ロータリーは世界をつなぐ」

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」

2019-20年度 クラブテーマ

「広めようロータリーの心 つなげよう地域との絆」

今回例会行事

テーマ：年次総会

担 当：会長・幹事

12月13日 2547回 例会行事

テーマ：我が業界の現状について

卓話者：及川 昭男会員

担 当：会員選考委員会



2544回例会

2019/11/15

司会 小村 昌三

「それでこそロータリー」「紅葉」 斉唱

～ 会長挨拶 ～



会長 杉山 智基

皆さん、こんにちは。昨日は、天皇が一代に一度臨む伝統的な皇位継承儀式「大嘗祭（だいじょうさい）」の中心儀式「大嘗宮の儀」が14日夕方から皇居・東御苑で行われました。1300年以上続く最も重要な即位に伴う皇室祭祀で、天皇陛下は神々に新穀を添えて五穀豊穡と国家の安寧を祈られました。（産経新聞15日朝刊より）

私的な思いですが、1300年以上も続くとされる儀式を行う天皇家を頂く日本国に生まれて本当に良かったと思います。皆様はいかがでしょう？

さて、今日の例会は浅野正幸会員の卓話です。ロータリーに思う事を存分にお話し頂ければと思います。楽しみにしていますので、宜しくお願いします。

例会後に、クラブ協議会を開催しますので、お時間の許す方はお残り頂きますようお願いいたします。クラブ戦略計画特別委員会での2回にわたる議論のご報告を君塚委員長よりご説明頂き、八千代ロータリークラブの将来ビジョンについて皆様からご意見を頂ければと思います。持続的な運営組織を構築するには、どの様に変化させて行けば良いか？ 10年先の八千代ロータリーはどのような姿になったら良いか？等についてご意見を頂ければ幸いです。

また、定款変更に係わる細則、特にメーキャップの期間の問題についてもご意見を頂ければと思います。本日は、地区において報告会が行われたときの細則変更案について、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。ご意見を理事会に諮り、最終的に総会にてご承認頂ければ、細則の変更を行いたいと思います。

宜しくお願い申し上げます。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

～ 幹事報告 ～



幹事 中島 貞好

○2020年2/9（日）地区大会開催 9：30点鐘 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール 回覧しますので出欠をご記入下さい。

○12/5（木）7クラブ親善ゴルフ大会開催 中山カントリークラブ 回覧しますので出欠をご記入下さい。

○赤十字奉仕団バザー協賛金授与

～ ご挨拶 ～

八千代市赤十字奉仕団 委員長 江野澤 真利子様
11/24に45回目のバザーを開催する事になりました。昨年は50周年という節目の年でした。市民や各団体の皆様のお陰です。現在AEDを30台、市の公共施設に設置しております。又奉仕団で資格を取得したものが、50か所の消防署で市民の皆様とAEDの勉強をして、意識の向上をはかっております。

～ 委員会報告 ～

職業奉仕委員会 委員 江頭 泰利

次週は、日比谷松本楼での移動例会となります。バスをご利用になる方は、希望した乗車場所から変更になる場合は、必ずご連絡下さい。

交換学生カウンセラー 遠藤 章雄会員

交換学生の2人からレポートが届きましたのでご報告致します。

インディオ君より

総合評価：5

健康状態：5

学校の状況：3 日常会話は出来る様になったが、クラスでの内容を理解するのに苦労しています。

ホストファミリーとの関係：5 バターの様になめらかです。

ホストRCとの関係：月1回の例会に出席。

その他近況：10月はとても楽しい月で、友達やホストファミリーと色々な場所に行きました。かなりの人と友好的に過ごしました。

そらさんより

総合評価：3

健康状態：3 寒暖の差が激しく体調を崩しました。

学校の状況：5 少しずつ話せるようになってきていると思っています。

ホストファミリーとの関係：5 予防注射の不備や、バスケ部所属などたくさん迷惑をかけてしまい申し訳ない気持ちでいっぱいです。お皿の片付けや掃除だけじゃ足りない気がします。もっと役に立てるよう頑張ります。

ホストRCとの関係：ミーティングに参加したいと連絡したのですが、なかなか日程が合わず参加できませんでした。

近況報告：3ヶ月経って少し落ち着いた気がしています。数学に追いつくことと、バスケ部のマネージャーはとても大変ですが、充実しています。ホストファミリーがアウトドア派なので、基本的に退屈する暇もなくいつも何かしら新しいことに挑戦できています。12月にCoronadoに行くのがとても楽しみです。

親睦活動委員会 委員長 飯田 明彦

お手元にクリスマス家族会のご案内を配布しました。11月末までにはがきでお申込みをお願い致します。

尚、食事が必要な幼児の参加は、小学生以下の欄にご記入下さい。

～ご案内～

佐々木 俊一会員

お手元に「高津・緑が丘地域防犯マップ」を配布しました。1年程前に卓話をした際に、地域の方や学校の先生で地域学校協働本部という新しい組織を作った事をお話しました。文科省の推奨を受けていますが、どこからも補助を受けられません。そんな中でも、まずは高津・緑が丘地域で活動を始め、八千代市内に広げていきたいと思っています。このマップは18,000部をエリア内の世帯に配布できる様に作成しました。裏面には協働本部についてもご案内があります。来年もまた発行する事を目標にしておりますので、皆さまにご協賛を頂ければと思っています。どうぞよろしく

お願い致します。

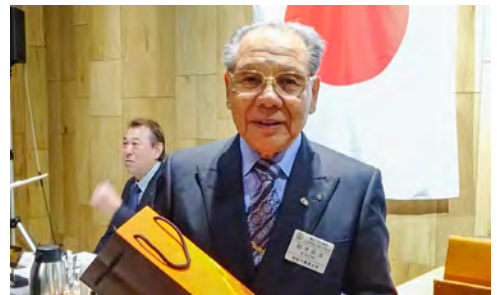
江口 茂勇会員

11月に入って火災が大変多くなっております。老朽化した電化製品が出火原因になっているようです。皆さんも是非点検をして頂ければと思います。

～お祝い～



本人誕生日：谷田貝 彰会員



結婚記念日：鈴木 政次会員

青木 淳会員

栗原 稔会員

～ 例 会 行 事 ～

ロータリー情報委員会 委員長 佐久間 勇治

本日は「ロータリーに入会して思う事」のテーマで浅野正幸会員にお話頂きます。当クラブで親子2代でご活躍されています。皆様ご期待頂ければと思います。

テーマ： ロータリーに入会して思う事



卓話者： 浅野 正幸会員

入会2年半で初めて卓話をさせていただきます、浅野正幸です。出来得る限り自分の事、自分の考えることをお伝えできればと思います。まずは2年半前、ロータリーに入会する際、日本国をこよなく愛する一人として、いずれ入会するなら風間さんから入会証書をお願いしたいと思い風間年度残り2回で入会させていただきました。初めての風間会長の挨拶で子供から『お父さんの時給1時間分払うから明日は1時間早く帰ってきて…』といった話がありました。最初の例会だったせいもあるのですが本当にいい話だなあ～と記憶に残る例会でした。

さてまず初めにこれからの約30分は常日頃、自分が考えている考え方であって、万人に共通する話でもなければ、絶対こうだ、こうでなければならないといった類の話ではないので、浅野はこんなことを考えているんだあ～、ふんっという感じで気楽に聞いてもらえればと思います。

さて浅野家では昔からほぼ毎日、親と雑談する事に行っています。意識してやっているわけではありませんがほぼ毎日1時間程度です。どんな話かといえば仕事の話などはほんの少いで、大半がロータリーの話やゴルフの話、政治や世界情勢について、競馬を含めた博打の話、飲み屋の話などなどホントのいわゆる雑談です。しかし単なる雑談だからと言って完全にフリーかって言えばそうでもないような…冷静に考えると何となくお互いに切り出さないとと思われる話があります。特に意識しているわけではないのですが事業継承や相続関係の話。この2つほとんど話題にならない話

になっています。子どもの側から考える事業継承、相続の話の切り出し方は本当に難しい事をここにいらっしゃるオーナーの皆様全員に理解してもらいたいと思います。子ども側から切り出された事業継承や相続の話など親の捉え様によっては子ども側にいくら入るの？と聞いているような感じになってしまうからです。親にそんな気がなくても子ども側としてはそのように少しでも疑われるような言動は控えたいと思うからです。

まずは事業継承ですが、自分が今まで見てきた中で結構有りがちなのは、うちのセガレはまだダメだあ～といつまでも会社の実権を譲らず、更には自社株もそのまま大社長が持ち続けるパターンです。少しずつ年を取りさあ～そろそろ引退しなければと思った時に時限爆弾が発動する一番厄介なパターンです。社業発展のため全力を尽くし、命がけで会社とその従業員、家族を守ってきたが故に自社株が想像以上に高くなりすぎていることがあります。子どもに譲ろうにも株価が高すぎて子どもが買いきれない状況に陥り、事業継承が進まない企業を何社か見てきました。(最近では優遇税制等そのような問題を回避しやすい法整備が進んでいるようですが、詳しくは齋藤会計に相談するのがベターだと思います) 幸いなことに浅野運輸の株式譲渡に関してだけは早いうちに親から子へ株式の譲渡を終えていたので浅野家では大きな問題になりませんでした。僕自身が銀行、税理士などと株価を毎年計算してタイミングを探し、ここぞというタイミングで僕に株を全部譲ってくれと切り出し、即決でOKをもらえたのが助かりました。株を譲ってもらった後は形式上ですが、僕が株主、親は雇われ社長といった状態になりました。だからといってどーってことなく、ほぼ全ての物事が以前と同じように進んでいきました。あの時、お前ごときに株など譲らん！と頑固親父になっていたら今頃、自社株譲渡で僕は山ほど現金を銀行から借入れ、その現金を親に支払えば今度は親に税金がくるといった問題で頭を痛めていたのだらうと思うとホントに感謝しています。

次に相続関係の話ですが実はこれが究極に難しい問題だと思っています。親がどこにいくら持っているのか、子供の側からでは皆目見当がつかないからです。親が良かれと思って税金対策事業を行ってもその規模が税金に対して適正規模なのか見当がつかず非常に困るのが現実です。わかりやすく例を挙げれば、1000万の相続税に対して1億の節税効果がある事業は様々なリスクを考えるとやり過ぎ感満載です。逆に1億の相

続税に対し1000万の節税効果事業で果たしてよいのか？といったように親の総資産が分からなければザックリな相続税額が分からず、何をやるにしても判断のしようがないという事です。現預金や株券など何処にいくらあるのか？不動産はどこにどの位あるのか？相続税は現預金で払えるのか？持っている不動産は簡単に現金に変更できる不動産なのか？親の不動産を全部残らず守るのか？…考え始めるとキリがありません。子どもの側から動ける相続対策は親に保険を掛ける事（これも簡単に出来そうですが高額を掛けるとなると親と一緒に病院に行かなければならず実は結構難しいですが）、親の資産を守るための現預金をしっかり貯める事。この程度しかないものと思われま

す。次に考えるのが2代目としての立ち回りです。親が大社長であればあるほどその事業を引き継ぐ2代目はなかなか表舞台に出づらいものだと思います。歴史の中から例を挙げれば江戸幕府。初代将軍徳川家康、誰でも知っている人物です。参勤交代、日光東照宮で有名な徳川家光は3代将軍。では2代将軍は…？と聞かれて答えられる人はほぼいないのではないかと思います。ちなみに2代将軍は徳川秀忠。では室町幕府。初代将軍は足利尊氏、一度は聞いたことあるのではないかと思います。金閣寺で有名な足利義光は3代将軍。では2代目は？…第2代将軍足利義詮（ヨシアキラ）、きっと誰も聞いたことがないと思います。初代将軍のように親が偉大過ぎると2代目はその陰に隠れてしまいがちな典型例だと思います。ちなみに鎌倉幕府はといえば、1192（いいくに）作ろう鎌倉幕府で有名な初代将軍源頼朝。（最近の研究では1185年なのではないかなどの意見もあり）、2代目は源頼家ですが親のやってきた事や慣例、習慣を良しとせず、強引な改革に走ったが故に幹部に呆れられ、わずか1年で将軍を引きずり降ろされ、その後すぐ暗殺されました。その後3代将軍実朝は2代目将軍頼家の子供に暗殺され

源氏はここで終了、実質的には北条家が政治を行う事となりました。

これらの例を見るに、碌に光が当たっていない社長の後ろの影は薄いので2代目は色々動きやすいのですが光が強く当たる大社長程その後ろの影が濃く出てしまい2代目が表舞台に出づらい状況になりがちなのだと考えています。どこに行ってもあなたのおやじさんにはあーだった、こーだった、あなたのおやじさんにはホントに世話になった、すごい人だと表舞台に出るとしばらくは、誰と話すにしてもずーっと枕詞のように同じ話からスタートするという事になります。意外と大変だなあ～と感じた記憶があります。2代目が親の影から表舞台に出ていく為には2代目のやる気、ガッツは当然として早いうちから表舞台に立てるような親のさり気ないバックアップも必要不可欠だと思います。

今日ここにおられる皆様のご子息はきっと自分と同じような事を多かれ少なかれ考えていると思います。何かの機会にテーブル囲んでじっくり話すもよし、一杯飲みながら話すのもよし。2代目と腹を割って話す機会を設けてみてはいかがでしょうか？いい事ばかりではないかもしれませんがプラスマイナスを考えてきっとプラスになるものと考えます。

最後になりますが究極の贅沢を言わせてもらえればビルゲイツやタイガーウッズの長男として生まれ、生まれながらに悠々自適な生活が…と笑いながら妄想することもあります。浅野家の長男としてこの世に生を受けた事を心より感謝しています。

以上をもって本日の卓話を終了したいと思います。
長時間にわたるご清聴、ありがとうございました。

～ 会 長 謝 辞 ～

杉山 智基

貴重な体験談をありがとうございました。



～ ニコニコBOX ～

鈴木 利雄：浅野正幸会員、卓話楽しみです。前回欠席しました。

遠藤 章雄：浅野正幸会員卓話楽しみです。よろしくお願い致します。

君塚 欣哉：浅野会員卓話楽しみです。

浅野 正敏：正幸君あわてずガンバッテ下さい。

風間 茂：浅野正幸会員卓話楽しみにしています。

合 計 ￥5,000

～ 友 愛 B O X ～

谷田貝 彰：59才になりました。

栗原 稔：結婚記念日、幾年過ぎたかな？

青木 淳：結婚20年になります。

浅野 正幸：卓話ガンバリます。よろしくお願いします。

杉山 智基：浅野正幸会員本日の卓話宜しく、お願いします。

佐久間勇治：浅野正幸会員卓話楽しみにしています。

中島 貞好：浅野正幸会員卓話よろしくお願い致します。

上代 修二：浅野会員卓話楽しみにしています。

池田 建：浅野正幸会員卓話、卓話よろしくお願い致します。

小高 栄二：浅野正幸会員卓話卓話よろしくお願い致します。

宮野 宗雄：浅野正幸様卓話楽しみにしております。

杉 晟：浅野正幸さん、卓話楽しみにしています！頑張って！

江頭 泰利：浅野正幸さん卓話楽しみにしています。

及川 昭男：浅野さん卓話楽しみにしています。

日下部良夫：浅野会員の卓話楽しみにしています。

朝戸 健夫：浅野正幸会員、卓話よろしくお願い致します。

稲山 雅治：浅野正幸会員卓話楽しみにしております。

永田 勝久：浅野正幸会員卓話楽しみです。

山浦 恭宏：浅野会員卓話楽しみにしています。

寺沢 一三：浅野会員卓話楽しみです。

栗原 稔：浅野さん卓話卓話楽しみです。

佐々木俊一：浅野正幸会員卓話楽しみにしています。

田村 隆治：浅野さん、卓話楽しみにしております。

佐野 忠信：浅野正幸さん卓話楽しみです。

中島 仁：浅野会員卓話楽しみです。

大中 宏道：浅野会員卓話楽しみにしています。

福田 良博：浅野正幸会員、卓話楽しみにしています。

櫻井 豊：卓話ががんばって。

山崎 克巳：浅野会員、卓話楽しみにしています。

三井 啓久：浅野正幸さん卓話よろしくお願い致します。

飯田 明彦：浅野会員卓話頑張ってください。

飯生高一郎：本日、1時10分頃早退します。

江口 茂勇：本日、お先に失礼します。

古川 洋：先週休みました。

渡邊 敏美：先週休みました。(法人会の用事で大分に行ってきました。)

葉山 哲夫：遅刻。浅野さん頑張って。

安宅 照男：先週欠席しました。浅野会員卓話宜しくお願いします。

合 計 ￥54,000

◆12月のロータリーレートは、1ドル108円です。

2545回例会

2019/11/22

司会 中村 賢治

「奉仕の理想」 斉唱

～ 会 長 挨 拶 ～



会長 杉山 智基

皆さん、こんばんは。

今日は職業奉仕委員会杉委員長の提案で歴史と伝統、そして格式のある「日比谷松本楼」にて八千代RCの夜間例会となりました。日比谷松本楼の小坂社長はじめスタッフの皆様、本日は大変お世話になります。何卒、宜しくお願い申し上げます。ご参加下さいました会員の皆様、足元の悪い中、バスや電車で駆けつけて頂き、心より感謝申し上げます。また、設営下さいましたSAAを始めとする関係委員会にも感謝申し上げます。

こちらの日比谷松本楼は、1903年（明治36年）に日比谷公園の開園と時を同じくして園内に創業したと伺いました。「中国革命の父」、中華民国では国父（国家の父）と呼ばれる孫文が日本に亡命していた時期に当館にお客として良く来店していたようです。本日、例

会前に卓話を頂いた小坂文乃社長の曾祖父にあたる梅屋庄吉氏が孫文と深い絆に結ばれ、革命運動の考えに共鳴し私財を投げうって盟約を実行したとの事です。

その後、日比谷公園は激動の近代史の舞台となり、当館は116年にわたり時代の移り変わりを見守ってこられたのだと思います。また、当館は昭和46年秋にデモ隊が放った火炎瓶により焼失されたとの事です、全国の多くの再興を願う方々による支援や協力により再建されオープンされ、現在の鉄筋3階建ての建物が建築されたと聞きました。その時の支援に応えるため、毎年10円カレーを続けて社会貢献活動をされているとの事です。以来、毎年その活動は継続され、様々な支援を必要とする災害地域に集まった義援金を送られているとの事です。そのご恩を忘れずに継続的に社会貢献活動されることにも深い感銘を覚えます。これから日比谷松本楼の発展を心より祈念します。

さて、私たちのロータリーはその2年後の1905年にシカゴでポールハリスと数名の友人が中心となり設立されました。日本とアメリカでは地域が違いますが、同じ時代に始まり、様々な歴史を乗り越えて今日まで引き継がれ、世界中に拡大発展していきました。日本にも1920年(大正9年)に東京ロータリーが設立され、「職業を通して奉仕活動を行う」という理念で日本全国にその活動が広がりました。

本日は、小坂社長よりお忙しいところ当館の歴史や孫文との逸話、さらには経営理念や社会貢献活動の卓話を頂き、大変興味深くお話を拝聴させて頂きました。その歴史や逸話、当館の美味しい料理と飲み物を時間の許す限り堪能していきたいと思います。どうぞ、宜しくお願いします。

～ 幹 事 報 告 ～

幹事 中島 貞好

○地区への推薦

青少年小委員会：田村 隆治会員・稲山 雅治会員
R財団：佐野 忠信会員

～ 委員会報告 ～

社会奉仕委員会 委員長 江口 茂勇

12/8 ニューリバーロードレース開催 みかんを40ケース配布しますのでお手伝い頂ける方は7時半に集合下さい。

上代 修二会員

12/5(木) 7クラブ親善ゴルフ大会参加者の方にはFAXにて詳細をご連絡します。

～ 例 会 行 事 ～

テーマ：梅屋庄吉翁と中国建国の父孫文の関係について 他



卓話者：松本楼第4代社長 小坂 文乃様

八千代RCの皆さま、本日は日比谷松本楼にお越し頂き、誠にありがとうございます。

実は私も6月の末に東京RCに入会致しました。今日は松本楼と梅屋庄吉のお話をお聞き頂きたいと思います。

本日はあいにくのお天気ですが、本来は1番紅葉が気持ちよく楽しめる時期です。店の前には樹齢500年の大銀杏があり、今日位から月末頃にかけて黄金色になります。

松本楼は今年で創業116年になります。明治36年1903年の創業です。山の様にレストランがひしめいている中で、恐らく100年以上代々続いている西洋式のレストランは他に無いと思います。なぜ日比谷公園の真真中にレストランがあるのかと言うところからお話させて頂きます。

明治時代、斜め前の帝国ホテルの横に鹿鳴館があった時代です。当時西洋の文化を取り入れようと、明治政府が考えた時に、ヨーロッパでは都市の中心に公園がありましたので、東京のど真真中に公園を造ろうというプロジェクトが起きました。しかし西洋式公園の概念や意味がわかりませんでした。武家屋敷や大名のお屋敷の中には立派な庭園がありましたが、そこに一般の人が出入りする事は出来ませんでした。誰でも入れる庭園というものがそもそもありませんでした。役人の方がヨーロッパに視察に行き、そこで公園と言うものを学んでこられました。3つの特徴があります。何だと思いますか？

1. 花壇がある
2. 音楽が聴ける場所がある

3. 食事が出来る場所がある

日比谷公園を設計したのは本田静六博士という有名な方で、湯布院の街並みを作った人です。先ほど申しました目の前の大きな銀杏の樹は、設計時は公園の外にありましたが、シンボルとして公園の真ん中に大銀杏を配置したかったのです。当時は大きな老木を移植する技術がありませんでした。太田静六博士は周りが反対する中、自分の首をかける覚悟でこの老木を公園の中心に移植する事に成功しました。そう言ったこともあり、この銀杏の樹は「首かけイチョウ」と言われています。

ここに出来たのが何故松本楼なのかと言うと、私の父方の曾祖父、小坂梅吉は銀座で割烹を営んでおり、非常に繁盛して沢山の税金を納税し、また貴族院議員もしておりました為、いち早く日比谷公園プロジェクトに参画し、入札して営業権を獲得しました。西洋式公園であれば洋食であろうという事でスタートしました。当時は公園も洋食も非常に珍しく、皆さん正装して公園に出向きました。夏目漱石、高村光太郎などの文豪たちが松本楼で洋食を食べた経験を小説や詩に書いて、この洋食の文化を広く伝えました。夏目漱石ですと「野分」という小説の中に「血のしたたるようなビステキを食べた」という下りが、そして高村光太郎で有名な「智恵子抄」の3つ目の詩には、「松本楼の庭前に氷菓を味へば」と書いています。その他にも、石川啄木の日記を見ますと、東京に出て来る度に松本楼でビールを飲むのが楽しみだという記述が沢山載っています。そういった文化人がこぞって松本楼にご来店頂いた事で、一般の方もお出かけ下さった文化の発祥地であります。

お配りしたパンフレットにあります梅屋庄吉は、私の母方の曾祖父になります。梅屋庄吉は1868年、明治元年に長崎で産まれました。明治元年の長崎は日本への全ての情報の発信源でした。そこでしか外国の情報は得る事が出来ませんでした。貿易商の息子として何不自由なく育ちました。長崎というのは実は東京よりも上海の方が近いので昔から長崎の方は「江戸に行くには水杯で、上海に行くには下駄ばきで」という言葉があった位、上海の方が身近でした。そんな文化の中で多くの中国の方や、異国の文化に触れながら育った梅屋は14歳の時に自分の家の船に乗って、上海に家出をしてしまいます。梅屋はじめ、長崎の人たちは中国から色々な文化が運ばれてきたので憧れの場所だったのですが、行ってみると尊敬していた中国の人々が西洋の人達に虐げられていて、人としての尊厳が与えら

れないような状況を目の当たりにするわけです。兄と違って慕っていた中国の人達がこんな目にあっているとは大変な事だと思いました。アジア人同士、手を結んで強いアジアを創らないと、全部西洋の人たちの植民地になってしまうのではないかと子供心に危機感を覚えていくのでした。その後も長崎の商売をちゃんと継ぐような人には育たず、夢を持って大陸に渡ってしまいました。ようやく落ち着いたのは香港で、写真館を経営し成功します。その時に出会ったのが、まだ貧乏だった医者の子孫文でした。孫文は今や世界の偉人のひとりですが、革命を起こす前は誰にも知られていない貧乏な医者でした。孫文の兄がハワイで農園を経営していたので中学・高校はハワイで学びました。アメリカの民主主義やキリスト教を学び、そういった思想をもって、中国の人々の貧しさや苦しさは医術では救えない、悪い政治を変えるしかないと思い始めていた時でした。とは言うものの、資金が全くない。そんな時、梅屋の写真館のお客様で、孫文の医学校の恩師でもあったイギリス人のジェームス・カントリーによって二人が引き合わされました。孫文が29歳、梅屋が27歳の時です。梅屋は若い時からアジア人同士が手を結んで強いアジアを創らなければいけないと思っていましたし、孫文は強く、きちんとした中国を創らなければならないという思いがありましたので、二人の熱い思いが一致して、お互いの思いが重なる経験をしました。ふたりは肝胆相照らし「君は兵を挙げよ、我は財をもって支援す」との盟約を結びました。以降梅屋は孫文が亡くなった後も、日中友好に奔走する人生をスタートした事になります。孫文は梅屋やその他の人からの支援金を基に、1895年10月に最初の革命を企てますが、政府につぶされて行きます。その後10回も革命を起こしては失敗を繰り返しますが、軍資金は梅屋やその他の支援者が出して行きます。梅屋自身も革命を支援しているという事で、香港からシンガポールに逃れました。そこで出会ったのが映画のビジネスで、大成功を収めた後、日本に凱旋帰国します。その大成功した映画ビジネスの裏側で中国の革命の支援を続けます。晩年、千葉県いすみ市の別荘で中国の革命家をかくまったりしていました。蒋介石もその別荘に居た事がありました。

1911年の辛亥革命によって皇帝政治に終止符をうち、近代中国への道を開きましたが、その後には袁世凱を倒すための革命を起こし続けるのでした。1914～15年の頃には、孫文の昔からの友人も離れて行きました。孫文は日本への亡命を梅屋に頼みますが、日本

政府はこれを断ります。犬養 毅、頭山 満の力と、梅屋の資金をもって孫文は隠れる様に日本に住んでいました。その間に梅屋夫妻のとりもちで宋 慶鈴と結婚をします。その後、小坂梅吉の孫と、梅屋庄吉の孫娘にお見合いの話があり、嫁いだ先が松本楼でした。孫の時代に縁が復活し、そして私が産まれました。

松本楼はただ116年経ちましたという訳ではございません。この東京のど真ん中で様々な事に巻き込まれて来ました。最初の建物は関東大震災による火災で焼失しました。2番目の建物は、戦争で生き残ったものの米軍の宿舎となりましたので営業する事が出来ませんでした。2代目は米軍に交渉し、建物の屋根裏に住むことが許されました。8年後に営業を再開し、ようやく軌道に乗り始めた時に沖縄返還の学生デモが起き、学生が火炎瓶を手にもって日比谷公園に集結しました。機動隊は公園内に学生を閉じ込めたので、松本楼に火炎瓶を投げつけ、あっという間に焼け落ちました。その時に救いの手を差し伸べてくれたのが明治大正時代のお客様でした。そのお客様の中のマスコミの皆さんが全国紙に連日の様に記事を書いてくれました。この事によって銀行も動かざるを得なくなり、お金を貸してくれる事になりました。現在の建物は3代目となります。2代目の社長は何か形にしてお礼をしたいと「10円カレー」を始めました。当時の読売新聞の社会部長は、これをチャリティという形にして今困っている人の為にし、ずっと続けていかなければならないとおっしゃいました。10円以上のチャリティでカレーが食べられる日として、今年で47回目になりました。最初は交通遺児育英会に寄付をしていましたが、災害がおきた時には被災地へ、大きな災害が無い時はユニセフに寄付しています。これまでに11万人以上の方にご参加頂いて2000万円以上の寄付となりました。今年はユニセフと千葉の災害対策本部へお送りしました。

飲食業界は消費増税、人手不足など逆風だらけですが、長く営業でき、お客様をお迎え出来る感謝の気持ちを社員共々忘れないようにこの10円カレーチャリティはずっと続けて行くつもりです。

松本楼は、むかし西洋の文化を発信する地でしたが、今は日本中で頑張って作っている食材を世界に発信するレストランになりたいと思っています。

今日は皆さまをお迎えする事が出来、大変光栄に思っております。今後とも松本楼をご愛顧頂きます様、よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございます。

～ 会長謝辞 ～

激動の明治大正昭和、そして平成令和と116年に及ぶ歴史と伝統、格式あるレストランで例会を行う事ができ我々も大変うれしく思っております。これから食事を堪能させて頂き、歴史を学びたいと思います。これからも社会貢献される松本楼さんをご発展される事をご祈念申し上げます。

本日はお忙しい中、卓話を頂き本当にありがとうございました。



会長エレクト 市原 正男

皆さま、今日はバスで都内まで来ましたので小旅行の様に感じます。無事にご自宅に着くまで十分注意してお帰り下さい。それでは皆さまのご健勝を祈念して3本で締めたいと思います。





～ニコニコBOX～

小坂様卓話楽しみにしています。

朝戸 健夫・浅野 正敏・安宅 照男・飯生高一郎
池田 建・石渡誠太郎・市原 正男・稲山 雅治
植村 正徳・江口 茂勇・江頭 泰利・及川 昭男
風間 茂・上代 修二・菊川 秀明・君塚 欣哉
栗原 稔・小村 昌三・齊藤 昌宏・佐久間勇治
佐々木俊一・佐野 忠信・杉 晟・杉山 智基
鈴木 利雄・田村 隆治・寺沢 一三・中島 貞好
永田 勝久・中村 賢治・橋本 幹雄・福田 良博
松戸 英雄・三井 啓久・宮田 慎吾・宮野 宗雄
渡邊 敏美

合 計 ￥37,000

◆12月のロータリーレートは、1ドル108円です。



近隣クラブ例会日

例会場

火曜日 四街道R.C	(四街道ゴルフクラブ)
火曜日 八千代中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
水曜日 習志野R.C	(習志野商工会議所会館)
水曜日 佐倉中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
木曜日 佐倉R.C	(フランス料理・シェ・ムラ)
木曜日 習志野中央R.C	(習志野商工会議所会館)

例会出席率

	会員総数	出席対象者	出 席	%
11/15	53	51	45	88.2
11/22	53	44	37	84.09

■出席委員長 菊川 秀明

※欠席の際は、必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。

■例会日 金曜日 12:30 ～ 13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX: 047-450-0050)

君が代

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
巖となりて
苔の生すまで

■クラブ会報委員会

委員長: 中島 仁 副委員長: 永田 勝久

TEL: 047-459-5806